

全労金2019春季生活闘争ニュース・第15号

本日は「全国一斉職場集会」の日です！

全14単組の要求と交渉状況を共有し、
今後の闘い方について意思統一を図りましょう！

◎「基本賃金の改善」

正職員の賃金改善に関して、3月22日10時現在で「前向き」な姿勢を示しているのは6単組、嘱託等職員に関しては、半数を超える8単組で「前向き」な姿勢が示されています。

関連会社で働く仲間に関しては、4単組で要求し、本日以降、回答輪郭が示される予定です。

こうした交渉状況からは、半数以上の金庫・事業体において、労働組合の要求主旨を一定理解し、真摯に検討が進められたものと受け止められます。

その一方で、金融機関を取り巻く環境や今後の収益シミュレーション等を背景に、労働組合の主張に耳を傾けようとしない金庫もあります。労働組合の要求に対する向き合い方の違いによって、職員・組合員の金庫に対する感情は180度異なったものになるを得ず、結果として、金庫の経営に良い影響を与えるとは到底思えません。私たちの要求に対して、「応じられない」とする金庫・事業体は、その根拠とあわせて「どのような環境であれば応じることができるのか」を明確に示す必要があります。

◎「年間一時金」

正職員に関して、3月22日10時現在までに全労金が把握している段階で、「昨年実績以上」の考えを示しているのは11単組、嘱託等職員に関しては11単組となっています。

また、同一労働同一賃金を踏まえ、嘱託等職員の改善要求に対し、前向きな姿勢を示しているのは3単組となっています。

多くの単組が昨年実績以上の考えを引き出していることは、「厳しい経営環境」の中で、労働組合が主張している職員・組合員の奮闘に、経営がしっかりと目を向け、真摯に応じたと考えられ、残りの金庫・事業体・関連会社に同様の考えを示させる後押しになるとも考えられます。

◎「最低賃金の引き上げ」

2019春季生活闘争で、「最低賃金の引き上げ」を要求した単組は10単組（※時間額1,000円に到達している近畿・中国・九州と、協議で解決を図る静岡を除く）、3月

22日までに全労金が把握した段階で、**最低賃金の引き上げに応じる考えを示しているのは7単組**となっており、連合方針を踏まえ、全労金組織全体で進めている「誰もが時給 1,000円」に向けて、一定の前進が図られています。

◎「雇用に関する環境整備」

2019春季生活闘争では「年休積立制度」「私傷病欠勤・休職制度」を掲げています。

「年休積立制度」について、2019春季生活闘争までに制度が確立しているのは12単組ですが、残る2単組も2019年4月1日から制度導入予定となっています。2019春季生活闘争では1単組で「使用目的の追加（※不妊治療）」を要求しています（※13単組では不妊治療は使用目的となっている）。

「私傷病欠勤・休職制度」について、2019春季生活闘争前までに正職員と同様の制度（※有期の期間は除く）を確立しているのは8単組であり、2019春季生活闘争では4単組が要求しています（※2単組が協議で解決）。

いずれの制度も多く金庫で既に導入されていますが、これらの要求は今後の日本社会を考えた場合、事業主に必然的に求められる措置だと考えます。雇用環境を整備することは人財の確保に繋がり、事業の発展にも繋がります。

◎3月25日からは「最終交渉期間」です！

全労金「統一闘争」は、3月25～27日を最終交渉期間としており、単組・組合員が納得できる回答を引き出すための交渉期間としています。また、金庫・事業体・関連会社が翻意しない場合は、要求獲得に向けた交渉戦術（※交渉体制・交渉日程の見直し、争議行為等）を検討する期間となります。

連合に結集する多くの先行組合では、第4次産業革命が進み、事業運営の見通しも厳しい中で、「人への投資」と企業としての「社会的責任」を果たすべく、労働組合の主張に一定の理解を示し、賃金引き上げを回答しています。また、「経済の自律的成長」や「包摂的な社会」の実現に向けて、「底上げ・底支え」「格差是正」を進めるために、いわゆる非正規労働者に対する賃金引き上げにも応じる企業が増えています。

私たち全労金組織は、労働金庫の置かれた経営環境は十分に理解していますし、そうした環境下において、業務の効率化、iDeCo・投信・保険等の販売を含めた事業推進にも力を入れ、勤労者のための金融機関としての役割発揮に向けて職員は努力しています。今後も待ったなしで取り組む業務改革や、環境変化に対応するのは職員・組合員です。職員・組合員が、2019年度の事業を展開するにあたり、高いモチベーションと将来のビジョンに向かって労金運動を進められるよう、誠意ある回答を勝ち取るために、最後の最後まで全組合員で闘い抜きましょう。

※次号は3月25日（月）以降に配信予定です。

※全労金HP (<http://www.zenrokin.or.jp/>) もご覧ください！

以 上